



### 一年間を振り返って、今後の抱負

4月に入職してからの1年間を振り返ると、配属されたばかりの頃は基本的な業務を覚える事に必死でした。毎日先輩方と忙しく動き回る日々でしたが、患者さんからの感謝の言葉に仕事のやりがいを感じました。また、多忙な中でも先輩方に手厚い指導をして頂き、日々新しい知識に触れることで楽しく働く事ができました。今後は後輩ができるので、いい見本となるよう、学んだ事を活かしつつ、日々の学習に励んでいきたいと思ひます。

3階東病棟 坂元

入職し4階西病棟に配属されてから9ヶ月が経ちます。最初の頃は、様々な病棟をローテーションさせて頂き、自分がどの科に興味があり学びたいのかじっくり考える事が出来ました。1年間を通して、患者さんのことを一番に考え、気持ちを察し、それに対して看護を行って行くことが大切だと感じました。この1年は毎日業務をこなすことで一生懸命だったので、来年からは、業務をこなしながら患者さんとしっかり向き合えるようになっていきたいです。

4階東病棟 高柳

新人看護師として1年を通し、当初は不安と焦りで一杯でしたが、大勢の先輩方のサポートや励ましの言葉で成長できた年でした。忙しい中、処置や看護技術も私ができるまで温かく見守ってくださり、緊張の中での夜間業務も優先順位の決定や術後看護もたくさんご指導下さって出来るようになりました。また、一番嬉しかった事は、患者様やそのご家族からの温かい感謝の言葉を頂き、看護師になって良かったと思えた瞬間でした。来年度はまだまだ未熟である為、更に疾患の理解を深め、患者様の置かれている現状を把握し、生活を背景にその方に応じた看護が出来るようになりたいです。

3階東病棟 毛利

4月から看護師として市民病院へ入職し、6月から脳神経外科・外科の病棟へ配属となりました。毎日忙しく、看護業務に追われる中、患者優先の看護が出来ていないと日々感じる事が有ります。できるだけ、業務を一時中断し、患者の訴えに耳傾ける事が出来る看護師に今後なっていきたいと思ひます。毎日が勉強であり、たくさん看護・医療を学んで行きたいと思ひます。

4階西病棟 山元

一年間を振り返って、患者さんと関わる中で、たくさん経験を積むことができました。病棟に配属された当初は、分からない事が多くあり、戸惑う事もありましたが、一年間を振り返ると、経験した事や学んできた事は、無駄にはなっておらず、看護師として少しは成長できたのではないかと考えます。今後も患者さんとの日々の関わりを大切に、一つ一つ丁寧に取り組んでいきたいと思ひます。

4階東病棟 田代

市民病院に入職し約1年が経ち、病棟へ配属となり約9ヶ月が経ちました。採血やルートキープなどの看護技術は特に自信がなくなかなか上手くできていませんでしたが、先輩方にアドバイスを練習を繰り返すことで少しは自信を持てるようになりました。患者さんからも学ぶことも多く、採血の際に「緊張しているのね、自信を持ちなさい。緊張が伝わるよ。」と言われたことがあり、私が自信なく緊張していることが患者に伝わってしまうことを教えていただきました。まだ、自信もなく緊張することもあるが自信を持てるようにしていきたいと思ひます。

2年目となり聞きにくいこともあるかもしれませんが、分からないままにせず聞き、丁寧にインシデント、アクシデントを起こすことなく仕事をしていきたいと思ひます。

4階西病棟 今川

4月に入職してからもうすぐで1年が経ちます。入職した頃は、新人研修やローテーション研修を受けながら、仕事に慣れることが出来るか、看護師としてやっていけるか不安に思っていました。手術室に配属され、分からない事の方が多く、日々の業務や流れに慣れることは大変でしたが、先輩方にフォローしていただきながら、器械出しや外回りの仕事を覚える事が出来ました。まだまだ出来ないことも多いですが、技術面だけではなく行う事への知識を身につけ業務を行っていききたいと思ひます。

手術室 川添

入職してから1年間が経ち、この1年で少しずつ看護業務にも慣れ、技術面や知識面も深めることができました。また、患者さんへの傾聴的・共感的態度に関わる事が出来たと思ひます。2年目は、まだまだ不足している知識や技術の習得に努め、1年目より成長できるように頑張りたいです。

4階東病棟 大山

看護師になり1年間を通して様々な事を考えさせられる1年間でした。安全に看護を行うためには、患者の些細な変化に気付く洞察力や正しい知識・技術だけでなく情報を共有する事でより安全性が保てる事が分かりました。また、外回りの看護師として業務を任されるようになり、手術の進行にあわせた物品や薬剤、環境整備が手術のタイムロスに影響するため、事前に手技書に目を通し手術内容の理解も深め根拠を持った援助を行っていくこと、そして、手術のあとは振り返りを行っていくことで次の手術援助に活かすことも学びました。

今年の目標は、看護師として、援助動作を丁寧にし、看護の根拠をしっかりと理解し考え行動することができ、手術室のスタッフとして独り立ちできるようにしたいです。

手術室 内野

看護師になり1年が経ちました。初めは分からないことばかりで覚えなければならぬ事も沢山あり毎日不安と焦りでいっぱいでしたが、優しいプリセプターや先輩方が一つ一つ丁寧に教えて下さり、少しずつですが安全にケアが行えるようになりました。

学校での実習と違い、多くの患者様と関わり日々優先順位を考えて業務を行なうことを自分が想像していたよりも大変でした。ですが、患者様からの「ありがとう」という言葉が何よりも励みになり日々前向きに仕事に取り組みました。

もうすぐ2年目になります。常に患者様のそばに寄り添って看護ができるようにこれからも日々精進していきたいです。

包括ケア病棟 吉原

## 倫理コースを受講して

### ラダーⅡ

講師：3階東師長 村尾智子

#### 回復リハビリ病棟 濱田

今回、倫理について学びを深め、今後の自己研鑽に努めるため倫理研修に参加しました。

院内研修に参加し、事例を通して倫理的ジレンマが生じた際の対応について学ぶことができました。実際に倫理的ジレンマが生じた際には、1人で考えるのではなく、スタッフ全員で考えていく必要があると感じました。議論を行う上でも、患者背景・生活環境・家族環境など、患者・家族をとりまく環境を把握し、他職種で相談しながら今後の方向性・意思決定支援を行なっていきたいと感じました。患者自信はもちろん、家族にとっても望まれた選択ができるよう十分な説明と意思決定支援に努めていきたいと考えます。

### ラダーⅢ

講師：化学療法認定看護師

濱田幸蔵

#### 4西病棟 石原

今回「倫理」研修に参加して、実際の病棟患者の事例をもとに4つの倫理原則による情報の整理・分析を行いました。問題点を抽出し、どうしたら倫理的問題が解決できるかを具体的に考えることで、今までどう対応したらよいかわからなかった方向性が見えてきたと思います。今後、倫理的問題が生じた時には、患者の意向や周囲の状況などを把握した上で、倫理原則に当てはめて考察し、倫理的な配慮を行いながら看護していきたいと思っています。

### ラダーⅠ

ナラティブ発表会に参加して

3東病棟 坂元

今回の研修で、自分の看護体験を基に、どのような事を学び、今後どのような課題が挙げたかを確認する事ができました。他の新人看護師の体験を聞く事で、自分の経験にない終末期の患者に対する声掛けの難しさや、ストーマから便が漏れる事を不安に思っている患者に対して、患者の不安にどこまで対応するべきかなど、それぞれが貴重な体験をしている事を知りました。また、新人時代に振り返った出来事は、日が経つにつれ記憶が曖昧になってしまうというコメントを頂き、今回、自分が振り返って学んだことを時々見返すなどして、新人時代の体験や学びを大切にしていきたいと思いました。

## 「H29年度 プリセプター・エルダー会を終えて」

#### 回復リハビリ病棟 主任 満園

H29年度教育委員でプリセプター・エルダー会に携わってきました。

今年度から、「シャドウ研修」という新しい研修システムが導入されました。はじめて聞く研修システムで戸惑いもあったのではないのでしょうか？（私もその中の一人ですが）

各病棟のプリセプターが、新人看護師の育成において行動、計画、実施し、他病棟のプリセプターと情報共有・問題解決策に気付き、新人看護師の成長を共に喜び成長出来たと感じました。また、会に参加し話を聞くことで私自身も嬉しく感じ「教える=学ぶ」やはり素敵な事だと感じました。

## 平成30年度 プリセプター研修 (第1回) を受講して

講師：教育指導担当師長 久保 洋子

4階東病棟 西村

1回目のプリセプター研修を受講し、PNSに基づくプリセプター、エルダーの考え方や基本的な教育、関わりについて学びました。その中で新人看護師の不安を考慮しつつも成長に合わせて、任せられることは任せ、改善点を一緒に検討し、お互いが成長出来るような関わりが重要であることが分かりました。私自身がまだまだ未熟であり、プリセプターを行うことにとっても不安がありましたが、他スタッフと協力し、お互いの成長へ繋がる関わりをしていけたらと思います。



## 院外研修報告

### 「医療安全管理者養成研修」に参加して

4階東病棟 主任 有川

eラーニングでの48項目の履修科目を受講後、12/10看護協会で集合研修に参加しました。この研修は、医療安全管理者として必要な基本的知識・技術・態度を習得し、実践に活かす事を目的としています。医療事故予防のための情報収集、分析、対策立案、医療過誤・事故に関する法律や行政の動き、事故発生時の動き、家族の心理、ケアなど医療安全に携わる者として必要な知識を学びました。集合研修では、グループワークで他医療機関の方とともにRCA分析を実際の事例を交えながら行い、インシデントが発生した際に根本的な原因分析を行う事で今後の再発防止に向けた働きかけができるようになりました。また、現在セーフティマネージャーとして活動を行っていますが、自施設の医療安全マニュアルの遵守が不十分でインシデントが発生している現状があります。マニュアルの遵守、周知徹底を図れるよう今後も活動を行っていくと思います。

### 「看護職員卒後研修実施指導者研修」に参加して

4階東病棟 小浦濱

研修に参加し、新人看護師を育てる上で必要な指導者としての関わり方を学ぶことが出来ました。新人看護師を「教える」「育てる」ことだけでなく、共に育つ姿勢が重要だと学びました。講義の中で、新人看護師との関わる際、上から目線だと相手を委縮させてしまい、本来の能力を発揮できないことや成長を妨げることにつながることを、目の前の患者さんではなく自分にまなざしが向いてしまう等を学びました。このことを意識して新人看護師と関わっていきたいと感じました。相手がどのような看護をしたいか「看護観」や「看護師像」について把握し、支援していきたいと思います。また、相手が学んだと感じて初めて「教育」が成立するため、教えっぱなしにしないことを意識していきたいと思います。

新人看護師と共通の志を持てるように看護について語り合い、思ったことや感じたことを発言できる環境づくりに努め、そのため、学んだことを病棟スタッフに周知し、スタッフ皆で新人を育てることが出来るように努めたいです。

## 中学生職場体験

看護部 教育指導担当師長 久保 洋子

2月23日(金)、川内中央中学校生、男子1名、女子3名(計4名)の職場体験が実施されました。初めての経験に緊張する場面もありましたが、患者さんのケア(足浴)やコミュニケーションをはじめ看護職との関わりを通して、病院・看護師への関心もより深まり、貴重な体験となったようです。





## ミニナラティブ

包括ケア 清水

看護師3年目の秋の頃です。肺癌末期の70代男性の患者さんA氏が入院していました。大きな畑を所有され、農業を営んでおられた方で、体調がいい時は、野菜や土の話、市場での競りの話を楽しそうにされていました。日に焼けた、体格の良い方でしたが、少しずつ小さくなっていくようでした。病気については告知されており、麻薬のモルヒネのみ使用され、全ての治療、急変時の延命処置も拒否されていました。日に日にモルヒネの使用量は増えていきましたが、それでも痛みがあり苦しい時は、背中をさすり「ごめんねえ。ありがとう。早く楽になりたいね。」とつぶやく声を聞きながら、痛みが静まるのを祈る毎日でした。少しずつ体力が落ち、12月末、状態は急変され、医師、看護師共に静かに見守る気持ちでした。しかし急遽、保険金の関係でご家族より年明けまで延命の希望があり、人工呼吸器を装着することになりました。そして挿管する時、ほんの数秒でしたが、A氏が目を開けられたのです。その目は介助する私を見ていました。「どうして？」と訴えているのがわかり、私は「ごめんなさい。」と繰り返し心の中で謝りました。年を明け、数日後A氏は静かに亡くなられましたが、治療も拒否されていたA氏にとって、延命処置をされたことは、どんな気持ちであったのかと考えます。看護師である私が延命希望のある家族と、拒否のあるA氏との橋渡しが早い時期に出来ていたなら、A氏は最後にあのような辛い目で訴えることをしなくても済んだのではないかと考えます。看護師として患者と家族との関わりが、重要で大切である事を最初に学んだ出来事でした。

## マイブーム

外来 松元



私の中のマイブームはソフトバレーをすることです。出身は宮崎県で、小学校5年生からバレーをはじめ、中学生まで続けていました。しかし、高校では部活をすることが出来なかったのですが、どうしてもバレーをしたかったので、社会人ソフトバレーに入っていました。そこで、初めてソフトバレーの面白さを体感し、4年間チームに入っていました。高校卒業と同時に川内へ一人暮らしをしないと決めなかったため、チームから脱退しました。ソフトバレーは4人制で人数が少ないため、たくさん体を動かします。自分のプレーで点数が入った時の楽しさが大好きでストレス発散になります。現在は、ソフトバレーをやっているチームを探しています。もし、知っているチームがあったら教えてください♪

## 編集後記

つい最近まで、インフルエンザが猛威を振るっていましたが、今は、花見シーズンへ突入！そして、花粉症に悩まされる時期になってきました。

体調管理をはじめ、気持ち良い環境づくりに努め、新入生を迎える準備に取り掛かりましょう。  
(久保)

